

STEP プログラムから得たもの

北海道教育大学函館校・地域協働専攻国際協働グループ・2年 和田あかね

1) プログラムで受講した授業に対する印象・コメント

今回私がワシントン大学の STEP というプログラムで受講した授業は、クラスの人との英語での会話や意見交換などが多かったというのが強い印象です。このプログラムの初日に行われるクラス分けテストは、簡単な単語の問題とリーディングと短いスピーキングのテストでした。このテストはスピーキングの部分が大きく点数に反映されるので、レベルの高いクラスを目指すのであればスピーキングの時間になるべく多く自分の意見を述べるようにした方が良いと思います。私のクラスは3つのクラスのうち中間レベルのクラスでした。授業は基本的にオールイングリッシュの授業で、日本人の生徒同士での会話など、クラスにいるときは英語で話す決まりでした。最初は知人があまりいなくて、発言に躊躇するときがありました。しかし、周りの人と多く話す機会が多い授業だったので、友達が増えていき、クラスの雰囲気も明るかったので徐々にクラスの中で英語で発言することに抵抗がなくなり、自発的に多く発言することができるようになりました。先生も、説明しているときに私たちに近づいてきてくれたので質問しやすかったです。主な授業内容は、シアトルの文化についてクラスの人たちと自分の意見を述べ合ったり、教科書で文法的な知識を深めたり、一本の洋画を音声と字幕が英語の状態で何日かに分けて少しずつ見て、その映画の中で使われている英語表現を学んだり、そこでリスニング力を高めたりするというものでした。英語を書いたり聞いたりするよりも、話すことの方が圧倒的に多かったです。そのおかげで、自分の中でとても大きかった英語を話すことの抵抗感や間違えたらどうしようという不安が小さくなりました。



←登校時に通る校舎の風景
ジョージ・ワシントン像
を見て、今日も授業を頑
張ろうと思いながら通っ
ていました！夢のようで
した☆

2) ワシントン大学での生活体験、シアトルの都市の様子、参加者に伝えたいこと

ワシントン大学での生活は、常に「充実」の一言に尽きました。まず、私は朝ワシントン大学に登校すること自体に幸福を感じていたため、家から大学のバス停までのバスの中でワクワクしながら登校していました。そして授業が終わった後はクラスの友達と大学内のHUBという場所でランチを食べました。スターバックスやピザ、ハンバーガーなどを購入することができて、そこで自分たちの好きなものを選んで食べました。ランチの時間に、新しくできた友達などお互いの日本での大学生活を話したり、将来のことなどを話したり聞いたりしてとても楽しい時間を過ごすことができました。

平日は、午前の授業が終わった後に、オプションとして、プログラムの参加者と大学の肩が付き添いでシアトルの都市や観光名所に行きました。シアトルの都市は、スペース Needleや高いビルが立ち並び人が多く、近くに海が見えるのが印象的でした。様々な観光名所を巡り、アメリカならではの色とりどりでバラエティー豊かなものをたくさんみることもできたし、お土産もたくさん買いました。私が一番印象に残っているのがクラムチャウダーです。シアトルの海の幸がたっぷり入っていて、日本ではなかなか味わえないスープの味でした。とても美味しかったです。



←カニがたっぷりの
サンドイッチと
ポテトチップス、そ
して右下がクラム
チャウダー☆

今回私はこのワシントン大学のプログラムに参加してよかったと心から思います。初めての海外で、出発するまでは正直不安しかありませんでした。しかしいざアメリカに到着してワシントン大学というとても大きな大学に通い授業を受けるという経験をしたことで、自分が英語を勉強していくための大きなモチベーションになったし、もっと頑張りたいと思いました。そして、日本各地からくる参加者と友達になり彼らの話をきいたことで、自分の視野が大幅に広がりました。このプログラムに参加する方は、きっと思ってもいない、期待以上の大きな素敵な経験ができるし得るものが大きいと思います。私がそうだったのでこのプログラムを強くおすすめします！